

News Release

2023 年 2 月 21 日
チューリッヒ保険会社

2022 年度第 3 四半期(2022 年 12 月期)の主要業績のお知らせ

チューリッヒ保険会社(日本における代表者および最高経営責任者:西浦 正親)より、2022 年度第 3 四半期(2022 年 4 月 1 日~2022 年 12 月 31 日)の主要業績をお知らせします。

業績の概要

当社は、チューリッヒ・インシュアランス・カンパニー・リミテッド(1872 年にスイスで設立され、世界 200 以上の国と地域で事業展開するグローバルな保険会社)の日本支店として、グループの強固な財務基盤(S&P 社格付 AA/stable)を活用し、最重要拠点の一つとして、日本における業容拡大に取り組み、顧客体験の向上、新商品、新システムの開発に継続的に投資を行ってまいりました。

当年度においても、主力商品の傷害・医療保険および自動車保険については、共に元受保険料の増収を達成し、合計収入保険料は前年同期より 4.0%増加し、854 億円となりました。また発生ベースのコンバインド・レシオは 84.7%となりました。

正味損害率は前年同期より 0.5 ポイント上昇し 44.8%となりました。また正味事業費率は 0.7 ポイント上昇し 36.8%となり、経常利益 56 億円、当期純利益 54 億円を計上いたしました。

上記の結果として、単体ソルベンシー・マージン比率は 2022 年 12 月末現在で 730.3%となり、十分な支払余力を維持しています。

主な指標は以下のとおりです。

(単位:百万円・%・ポイント)

	2021 年 12 月期	2022 年 12 月期	
			対前年同期 増減率
収入保険料	82,110	85,416	4.0
正味損害率	44.3	44.8	0.5
正味事業費率	36.1	36.8	0.7
経常利益	4,735	5,645	19.2
当期純利益	4,112	5,382	30.9
	2022 年 3 月期末	2022 年 12 月期末	
単体ソルベンシー・マージン比率	666.0	730.3	64.3

用語説明や注記

収入保険料	元受保険料と受再保険料から各々解約返戻金、その他返戻金を控除した金額です
正味損害率	正味支払保険金に損害調査費を加えて正味収入保険料で除した割合です
正味事業費率	諸手数料及び集金費に保険引受に係る営業費及び一般管理費を加え、正味収入保険料で除した割合です
経常利益	経常収益から経常費用を差引いた金額です
当期純利益(純剰余)	当期純損益計算の最終結果である税引後当期純利益です
ソルベンシー・マージン比率	ソルベンシー・マージンの額の合計額をリスクの合計額で除した割合で、小数点第2位以下を切り捨て小数点第1位まで表示しております
金額・比率の注記	金額は記載単位未満を切り捨てて表示し、増減率等の比率は小数点第2位を四捨五入し小数点第一位まで表示しております

[チューリッヒ・インシュアランス・グループ決算概要](#)